

馴染みの顔と長寿を祝い、健康と幸せを願う ～平成27年度東通村敬老会～



越善村長による挨拶

9月21日(月)、村体育館において、平成27年度東通村敬老会が行われました。当日は、75歳以上の対象者1305名のうち427名が出席。多くの来賓の方などから、健康と長寿を祝福されました。

はじめに、越善靖夫村長が「東通村の今日までの発展は、皆さんが永年にわたり、村を想い育ててくださった賜物です。今後とも、常に村民の幸せを願い、生涯、元気で、明るい生活のできる村づくりのため努力して参る所存であります。そのためにも、皆様方の経験に裏付けられたお知恵も大切であります。ますま

す健康で、もっともつと長生きしていただき、東通村発展のため引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願います。」と挨拶を述べました。続いて、今年度めでたく百寿を迎えられる2名の方に内閣総理大臣表彰が贈られました。また、米寿夫婦(88歳を迎えられた長寿夫婦)2組に青森県知事表彰が、卒寿(90歳)13名と傘寿夫婦(80歳を迎えられた夫婦)19組に東通村長表彰が行われました。

祝宴に入ると、久しぶりの再会と健康を祝ってお酒を呑み交わし、旧友と楽しそうに団らんする姿が見られました。また、アトラクションでは、鹿橋青年会が能舞・手踊り、保健協力員の方々がダンベル体操を披露し、会場は笑顔と歓声に包まれました。

祝宴の最後となる「おしまこ」では、多くの出席者が踊りの輪に入り、熟練の手さばきを披露しました。

最後まで盛況のままに敬老会は幕を閉じました。



笑顔がこぼれる「おしまこ」の輪



貴重な、「師匠」の皆さんとの共演も



長寿を祝い、顕彰状が送られました

戦後70年、改めて平和を願う ～平成27年度東通村戦没者追悼式～



9月24日、第62回東通村戦没者追悼式が村体育館山手に建立されている戦没者慰霊碑前で挙行されました。

追悼式は先の大戦で犠牲となった、二百余柱の戦死者の英霊を追悼すると共に、併せて、世界の恒久平和を祈念するため行っているものです。

戦没者への黙祷に続き、越善靖夫村長、丹内俊範議会議長、小林義明村遺族会長が追悼の言葉を述べられ、最後に参列者全員が二百余柱の英霊に白菊の献花を捧げられました。

今を生きる私たちは、過去の悲惨な戦争から学んだ教訓と平和の尊さを決して忘れることなく、二度と戦争を繰り返さないことを次の世代に引き継がなければなりません。